

## ふるさと自慢映像大賞

**たつの** 御津中学校(たつの市御津町朝臣)の3年生5人が手がけた地域の魅力を詰め込んだ動画が、県教育委員会の「ふるさと自慢映像大賞」で最優秀賞に輝いた。成山新田や賀茂神社など町内の複数の名所に足を運び、約5カ月を費やして完成させた大作。5人は「動画制作を通して、改めて地元の素晴らしさを実感した」と声をそろえる。

(西竹唯太朗)



映像制作を手がけた御津中学校3年の5人  
|| たつの市役所

## 成山新田やカキ養殖など紹介

# 御津中の動画が最優秀賞

## 5カ月かけ取材・制作

県内の中学生に地域とのつながりを感じてもらおうことを目的に、2021年度から毎年実施されているコンテスト。今回は県内14校が応募した。

動画制作を担ったのは、いずれも前生徒会役員の安田朔太郎さん(15)▽藤本美桜さん(15)▽福井心陽さん(15)▽野村南実さん(15)▽福井みくりさん(15)。夏休みに入った7月から撮影を始めた。

完成した動画は約7分で、前半は自然観察公園「世界の梅公園」の異国風の施

設や富鳴神社秋祭りの勇壮な屋台練り、播磨灘に広がるカキ養殖のイカダなどを、生徒が現地を歩きながら紹介する。

後半では、干拓地の成山新田に取材対象を絞った。1919(大正8)年に、大阪の土木請負業者だった成山徳三郎が浅瀬を埋め立て造成を始めたことなど歴史を振り返るとともに、現在ここで根菜を育てる農家にインタビュー。水はけの良い土質が特徴であることや、海に囲まれているためミネラル分が豊富なことを

聞き出した。5人が農家に交じって芋掘り体験する様子も収めた。

「カキや梅園など知名度の高いものは季節的に撮影が難しく、野菜の収穫体験で小学生のころからなじみのある成山新田をメインにした」と5人。「やるからには最優秀を目指していたのでうれしい。町外の人はもちろん、動画を見た地元の人にも町の良さを再確認してほしい」と笑顔だった。作品は、県教育委員会義務教育課のホームページで公開している。